

ハイドロゲルスペーサー（SpaceOAR）注入術について

当院では、前立腺癌への放射線治療を行う際に、放射線の直腸への影響を低減する目的で行うハイドロゲルスペーサー（SpaceOAR）注入術を行っています。

放射線治療は、前立腺癌に対する根治治療のひとつとして定着しており、当院では外照射（強度変調放射線治療：IMRT）を施行しています。放射線治療を行う際の主な合併症の一つに、直腸への影響があります。前立腺は直腸と密着しており、放射線の線量を下げるのが難しく、副作用がある一定の割合で発生します。その多くは、程度の軽い直腸出血や肛門痛といったものです。しかし、頻度は低いものの、放射線照射から時間が経って発生する、直腸と前立腺の間に瘻孔ができるような重篤なことも発生します。

ハイドロゲルスペーサー（SpaceOAR）を直腸と前立腺の間に注入することで前立腺との距離を作り、直腸への被曝量を低減させます。米国の臨床試験では注入によって97.3%の方で直腸への照射量が25%以上減少したと報告されています。

治療は手術室で行います。麻酔法は当院においては基本的に腰椎あるいは全身麻酔でおこなわれています。直腸からのエコーで前立腺と直腸の間に針を侵入し、生理食塩水を少量注入して空間、SpaceOARを注入します。手術時間は15-30分程度で終了します。

SpaceOARの成分はポリエチレングリコールエステル化合物で脳外科手術などでも使用されており、安全性は証明されています。液体状のSpaceOARは注入後固まり、直腸と前立腺との間に1.0-1.5cm程度の隙間を作ります。3ヶ月程度体内で形状を保ち、6ヶ月程度でゆっくりと自然吸収され消失していきます。

スペーサー注入の副作用としては、会陰部の痛みや不快感、血尿、血便、感染、アレルギーなどが報告されています。当院では2023年1月より本術式を開始していますが、明らかな合併症はこれまで経験しておらず、比較的安全に施行可能な手技であると考えています。



